

工作物 景観形成のコンセプト

工作物などは、山並みへの眺望景観や田園景観などを阻害しないように設置場所に配慮するとともに、周辺景観との調和と圧迫感の軽減を図るため、立地環境に応じた規模、構造、デザイン、色彩などに留意するとともに、緑を効果的に活用しましょう。

工作物

■ 配置

- 景観阻害要因とならないよう、工作物は樹木や建物背後に配置するように努めましょう。

■ 形態意匠

- 工作物の規模・デザインは、周辺の自然やまちなみとの連続性に配慮し、周辺に圧迫感を与えないよう努めましょう。
- 建築物と一体に建設を行う場合は、建築物本体の形態や意匠と調和したものとしましょう。
- 工作物の色彩は、周辺と調和しない原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょう。

■ 外構

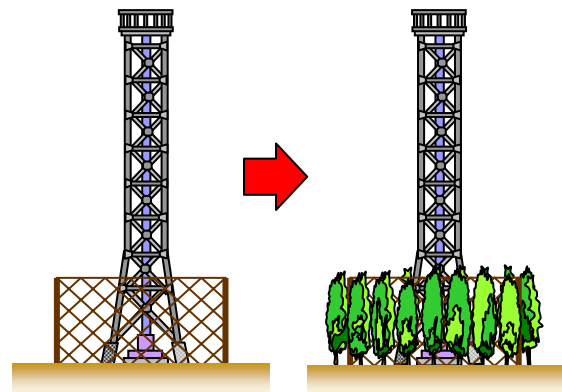
- 工作物の周辺は、緑化に努め、視覚的・心理的圧迫感の軽減に努めましょう。
- 工作物周辺をフェンスで囲う場合はフェンスの色彩は、周辺との調和に配慮し、原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょう。

■ 素材

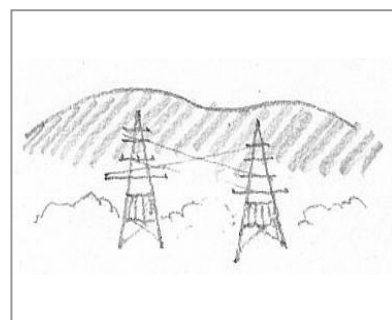
- 素材は輝度の高い金属等を避け、周辺への圧迫感を軽減しましょう。

■ 広告物

- 工作物に付帯する広告看板は極力設置しないようにしましょう。



- ・工作物周辺をフェンスで囲む場合は、フェンスの外側に植栽を行います。



- ・工作物はスカイラインの美しさを妨げないよう尾根からできるだけ低く配置します。

立体駐車場等

■ 配置

○立体駐車場の配置は、沿道から奥まった場所としましょう。やむを得ず沿道に配置する場合は周囲を高木で囲むようにし、修景に努めましょう。

■ 色彩

○立体駐車場の色彩は、周辺の建物の壁面と調和したものとしましょう。

■ 壁面緑化

○立体駐車場の壁面には、つる性の植物等を使い、積極的な壁面緑化を行いましょう。



右写真：立体駐車場をルーバーで遮蔽し、周囲に植栽をしている事例

擁壁等

■ 規模

○擁壁を計画する場合は、できるだけ高さを抑えましょう。

○住宅地に擁壁をつくる場合は、人の視線程度の高さまでに抑えるよう配慮しましょう。

■ 緑化

○擁壁は、前面道路からできるだけ後退させ、後退部分にスクリーン効果の高い緑を配置し、擁壁の圧迫感を軽減させましょう。

■ 形態

○勾配は、できるだけゆるやかなものとしたり、階段状の植栽が可能なブロック等を採用しましょう。

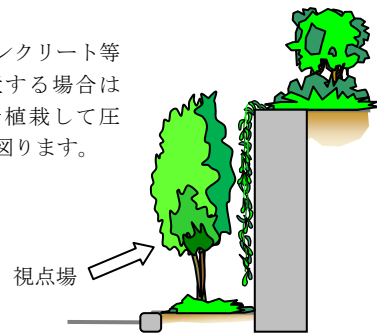
■ 素材

○擁壁の素材は、自然素材や緑化ブロック、その他の景観上良好な意匠を施した化粧ブロック等を積極的に採用しましょう。また、目地にも変化をつけるなど、周辺への圧迫感を軽減するような措置を施しましょう。



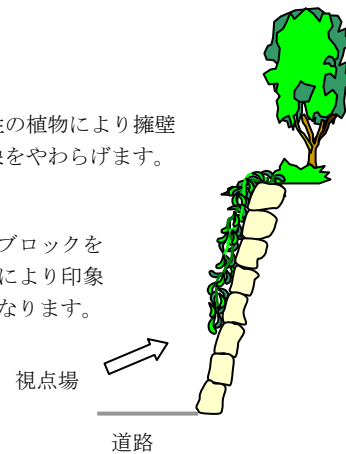
右写真：擁壁に石材を使い、自然の風合いを出している。

・やむを得ずコンクリート等の擁壁を設置する場合は前面に高木を植栽して圧迫感の軽減を図ります。



・つる性の植物により擁壁の印象をやわらげます。

・自然石や化粧ブロックを使用することにより印象がやわらかくなります。



・階段状にすることにより段上に植栽が可能となり、奥行きをつくり出すことができます。

